

一生忘れられない!

農業体験を!!



甲府

都留市

都留市立宝小学校田植え教室

農業体験の流れ

田植え

田んぼの生きもの調査

稲刈り

脱穀

正月飾り作り

餅つき

子どもたちが自然や土、農業と触れあう機会が減少しているため、

経験して

その先の未来へ



子どもたちにとって「楽しくて一生忘れられない思い出となる農業体験を！」

農業体験 in 宝小学校

この言葉をテーマに、地域の小学生に農業体験を行っている農家があります。それは都留市にお住まいの安田圭一さんです。安田さんは、中山間ふるさと水と土指導員として、都留市立宝小学校の児童を対象とした活動を行っています。

「子どもたちに農業や地域の人たちと触れあい、遊ぶこと、全力で取り組むことの大切さなどを学んでほしい。自分で考え行動し、経験したことをこれから先の人生に活かして欲しい。」という強い想いから、安田さんはこの活動を始めました。また、県では、中山間ふるさと水と土基金事業の一環である田んぼの生きもの調査や、てんだうじやん甲斐プロジェクトとして活動に参加しています。



安田さんにインタビュー



田んぼの生きもの調査

安田圭一さんの紹介

中山間ふるさと水と土指導員(平成21年度～)

農業生産グループの中核を担う

平成17年度より農業体験を行う

子ども主体の体験ができるように取り組む



わらで正月飾りの体験教室を行う安田さん

農業体験のきっかけ

子どもたちが農業に携わる機会が減少していると感じた安田さんは、近所の宝小学校へ農業体験を提案しました。5年生が授業で、バケツで稲作りをしていたことから本物の田んぼで田植えや稲刈り、餅つきなどを行うことができれば、子どもたちにとって貴重な経験になるという考えのもと、この活動はスタートしました。活動の中では、「あれはダメ。これはダメ。」のような指導ではなく、子どもたちが自分で考え、自由に取り組み、様々なことを身をもって経験できることを大切にしています。



田植え中の一休み

農業体験への想い

安田さんは、子どもたちの農業体験として様々な活動を行い、毎年熱心に教えていますが、活動当初は大変なことでもあったと言います。田植えで泥だらけになって帰ってくる子どもたちや、泥に触れることへの衛生面などを心配する声も少なくなかったそうです。しかし、他の農家や地域の方々からの協力・支援もあり、徐々に活動が地域に浸透していったと安田さんは語ります。

作業をしているとき、厳しく接することもありますが。しかし一方で、休み時間には子どもたちと一緒にわらで遊んだり、泥だらけになって走り回ったりするなど、作業するときと遊ぶときにメリハリをもって取り組むように指導しています。このように、自由な体験で一生懸命教えていただいで、子どもたちが生き生きと楽しんで取り組んでいることが、学校だけでなく、保護者からも喜ばれています。

一年間の活動を終えたあとに子どもたちからお礼の手紙をもらえると、安田さんは嬉しそうに話しています。その手紙の一部を見せていただいたところ、「最高のお米づくり本当にありがとうございました。この一年間は一生忘れません！とても楽しかったです。」という言葉もあり、子どもたちにも充分、想いが伝わっているのだと感じました。

子どもたちに農業体験を指導する一方で、子どもたちからもたくさんさんのものをもらっていると言います。それは『笑顔とパワー』です。子どもたちの元気に活動している姿は、重労働な農作業の大きな活力となっているそうです。

安田さんは、これから先も活動を継続し、地域に子どもたちの笑顔が溢れ続けていくことを望んでいます。



餅つき



つきたてのお餅



稲刈り